

NEWS M I Z U N A M I
みずなみ
 会 議 所 ニ ュ ー ス

発行所 瑞浪商工会議所
 〒509-6121 岐阜県瑞浪市
 寺河戸町1043-2
 ☎0572-67-2222
 ☎0572-67-2230
 編集責任者 瑞浪商工会議所
 広報委員長
 購読料 1部30円
 印刷 丸理印刷株式会社



瑞浪市立 稲津小学校 5年生 (寅年生まれの笑顔あふれる元気な子ども達)

新年明けましておめでとございます。会員の皆様には、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃は商工会議所の事業・運営に対し格別のご理解とご支援を賜わり深く感謝申し上げます。

新型コロナウイルスの発生から2年が経過しました。商工会議所の役員、議員、経営支援員など事務局員におかれましては、困窮する中小規模事業者への支援と地域活性化に力を注いでいただき厚くお礼を申し上げます。

国内では新型コロナウイルスの新規感染が減少し、重症者や死亡者も少なくなつてきています。流行の第5波はワクチン接種の進展でほぼ収束に向つていていると見て良いでしょう。これからは冬の流行に細心の注意を払いながら段階的に規制を緩



会 頭 鷺尾 賢一郎

和し、社会生活を元に戻していく段階に入りました。企業も感染者の減少を受け、

県境をまたぐ出張や訪問会議の復活に動き始めています。ただ当面はワクチン接種・マスク着用・3密回避という予防の基本を徹底しながら、段階的に制限を緩める「予防と規制の両面作戦」を進める必要があります。

「原材料高騰の影響がじわり半導体から大豆まで」

9月中旬決算は交通や宿泊、飲食など対面サービスを提供する業種を除き、新型コロナウイルス禍からの回復をうかがえる内容となりました。ただ幅広い業種で原材料価格の高騰や半導体不足の影響が開始されています。重油、小麦粉、たまご、陶磁器原料そして非製造業でも銅の価格高騰、鉄筋、コンクリート不足による工事の遅延などがあります。これらにより今後取引先や末端消費者への価格転嫁の動きが早まりそうです。

「今、中小企業の経営が正

コロナ禍のあとの日本経済はどうなるか。

念場を迎えています。」倒産件数は50年ぶりの低水準で推移しますが、長引く新型コロナウイルス禍で稼ぐ力が衰えています。政府がまとめた経済対策にも3兆円規模の給付金が盛り込まれました。企業に対する手厚い支援策は技術革新を阻害する副作用でもあります。岸田首相は「まずは経済成長、成長のための投資は惜しまない」と云われております。その言葉に期待したいと思います。

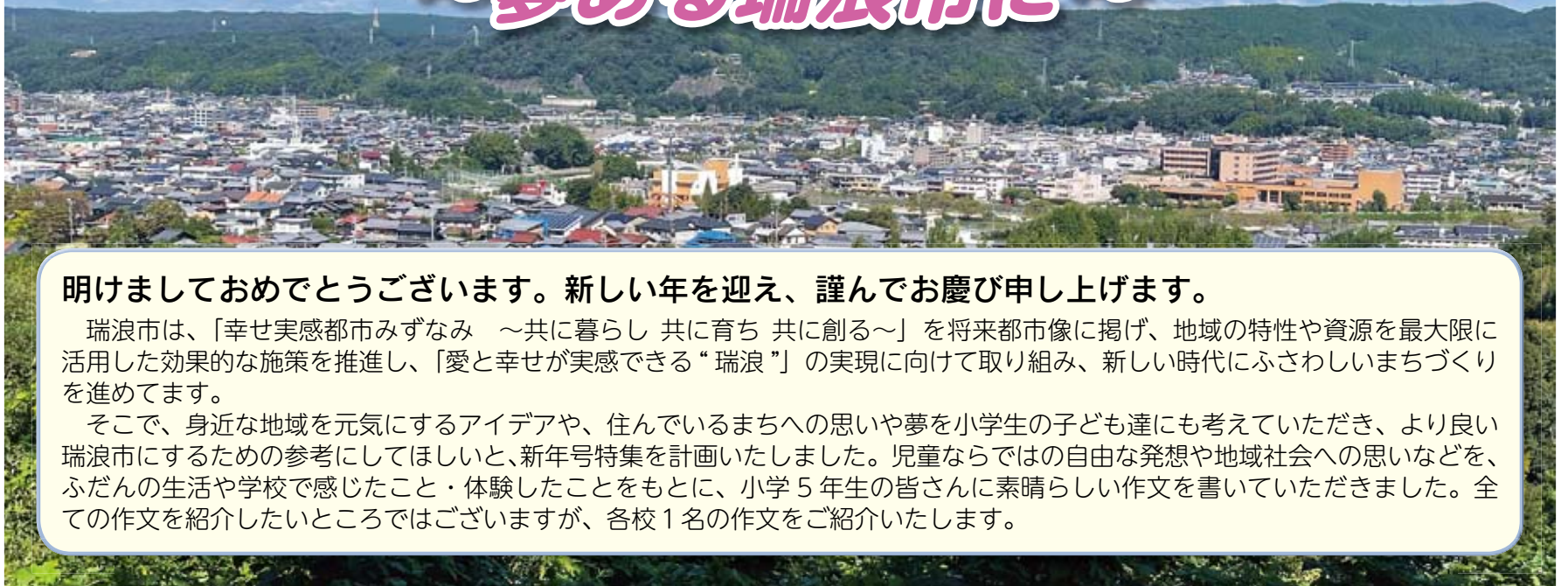
日本商工会議所は今創立100周年を迎えます。商工会議所は中小企業の活力強化と地域活性化による日本経済の持続的な成長の実現を目指します。多くの商工会議所とのネットワークを最大限活用し、コロナ禍を乗り越え、新しい時代を皆様と切り拓いてまいります。

今年も皆様の多大なご支援をお願いいたします。年頭のご挨拶といたします。

(本稿の〆切日は「オミクロン株が確認される前の11月25日でありました。12月も11月と同様のコロナ収束傾向と仮定して寄稿しております。)

私たちが夢みる瑞浪市の未来

～夢ある瑞浪市に～



明けましておめでとうございます。新しい年を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

瑞浪市は、「幸せ実感都市みずなみ ～共に暮らし 共に育ち 共に創る～」を将来都市像に掲げ、地域の特性や資源を最大限に活用した効果的な施策を推進し、「愛と幸せが実感できる“瑞浪”」の実現に向けて取り組み、新しい時代にふさわしいまちづくりを進めています。

そこで、身近な地域を元気にするアイデアや、住んでいるまちへの思いや夢を小学生の子ども達にも考えていただき、より良い瑞浪市にするための参考にしてほしいと、新年号特集を計画いたしました。児童ならではの自由な発想や地域社会への思いなどを、ふだんの生活や学校で感じたこと・体験したことをもとに、小学5年生の皆さんに素晴らしい作文を書いていただきました。全ての作文を紹介したいところではございますが、各校1名の作文をご紹介します。

共存するまちと自然、最高のまち・瑞浪

明世小学校 伊藤 結美



私の夢みる瑞浪市の未来は、「美しい自然とにぎやかなまちが共存する瑞浪市」です。

瑞浪市の駅周辺は、商店やし設などが多くあり、人も集まりにぎやかです。しかし、瑞浪市の大部分は、山や森など自然が多くあります。駅前のような店

やし設をつくるために、今ある自然を破かいすると、植物やきれいな空気などの自然が失われてしまいます。それは絶対にいやなことです。だから、この二つを共存させるべきだと思います。

そこで私は二つのことを考えました。まず一つは私でもできる、「五アール」を意識して実行することです。「ごみを外に捨てない」「使わない電気は消す」

もあいさつができるようにしたいです。二つ目は多くの人とあいさつが交わされれば、明るい雰囲気になり、やる気も出てくるからです。月に一回校門や通学路に地域の方たちが集まりあいさつ運動をしています。その時は、いつも以上に明るく感じ、なぜか元気が出てきます。

陶町がもっと明るく、ぼくもあいさつを明るくしていきます。そして、学校や地域の方にも自分からあいさつができるようにがんばります。

あいさつが豊かな町へ

陶小学校 鈴木 優真



ぼくは、陶町があいさつのよい町になってほしいと思います。理由は二つあります。

一つ目は、あいさつがあると陶がもっと明るい場所になるからです。明るい場所になれば、みんながもっと笑顔になるはず。学校では、とくに月曜日

はあいさつが少なく、朝から暗い雰囲気になります。みんなが笑顔一杯になるためにい

わたしの町の思いやゆめ

稲津小学校 平子 穂乃花



わたしの町には、森や林、川など自然がたくさんあります。わたしは、自然がとっても大好きです。だからもっと森や林、自然や自然の生き物がふえてほしいという思いがあります。もちろんわたし

「ごみは分別して捨てる」です。自然に優しい行動を日常的にすることが大切だと思います。二つ目は、自然を大切にしたいまちづくりです。例えば、建物を新しく作る時には、まず、

もう使われていない建物が使えないか、木のない空いている土地が使えないかを考えることなど、できるかぎり自然への負担がかからないようにすることです。瑞浪市の人々が自

然保護を意識し、実行すれば、「美しい自然とにぎやかなまちが共存する瑞浪市」になると思います。絶対に実現可能な未来だと思えます。

など、自然がこわれてきています。だから、自然を守って、自然をふやして、生き物たちも、たくさんふえるように、今から、努力していきたいです。

わたしにもいいことがあります。たとえば、木で雨水がきれいになったり、空気がきれいになるからです。ですが、そんな自然を大切にせず、木をばっさいしたり、川をゴミでよごしたりする人もいます。最近、田んぼをやる人がふえ、田んぼが少なくなってきたり、木が少なくなると、建物がふえてきたりする

地産地消で瑞浪を笑顔に

釜戸小学校 保母 唯羽



瑞浪市は自然がたくさんあります。山は春夏秋冬それぞれとてもすてきです。田んぼや畑もたくさんあります。私も家で稲刈り、そしてはざかけをしてだっく、畑も手伝い

ます。稲や種を植えてから収穫するまで、天気などを見ながらたくさんお世話をし、本当に手間がかかり大変です。手間をかけて育てたお米、とれたての旬の野菜はとってもおいしいです。しかし、テレビで見ましたが、そんな野菜でも捨てられてしまう分があると知りました。

捨てられてしまう分を使ってお弁当を作ったりしているお店があることも知りました。瑞浪市も捨てられてしまうものをゼロに!! そんなもったいないことはしたらだめだと思います。地元で採れた農産物は地元で消費、たくさんの人たちの想いがつまったおいしいものをいただいで、みんなが笑顔になれるといいなと思います。